

1. 病棟の具体的な目標と評価

1) 安全で質の高い看護を実践する

入院時担当した看護師、または年間パートナーが受け持ち看護師となり入院時から退院まで個別性のある看護の実践に努めた。また PNS 年間を通じて PNS での活動を継続したことで、安心・安全な看護、知識・技術の可視化、人材育成に繋がった。

急変時対応のシミュレーションを 2 回実施、2 年目看護師 5 名に対しては SCU 研修を一人 3 日間ずつ実施した。観察方法やケア・介助方法の検討、精神面や家族への関わり方など、より専門性の高い看護実践を目指し、日々の看護に活かすことができた。

2) 病院経営に参画する

脳卒中パス適応は 272 名中 71 名、在宅復帰患者数 131 名であった。脳卒中教室を週 1 回開催し合計 127 件の参加があった。そのうち家族参加ありは 30 件であった。例年同様の件数であったが、患者・家族への情報提供や再発防止に向けた行動など多職種での指導を継続して行うことができた。また、多職種カンファレンスによる退院調整を週 1 回継続して行い、早期から情報共有ができ退院支援に繋げることができた。

3) 患者の視点に立った医療安全を推進する

(1) 前年度、原因が確認不足のインシデント件数は 142 件で全インシデントに占める割合は 72%であった。昨年度全インシデント件数 190 件のうち、原因が確認不足であるものは 136 件でありその割合は 71.5%であった。件数が減少しても確認不足のインシデント割合の変化はなかった。しかし、24 時間以内のインシデントワーキングの実施を継続し、インシデント件数は前年度より 21 件とわずかであるが減少し、増加はなかった。

(2) 新規褥瘡発生は年間 8 件(うち MDRPU2 件)、スキンテア 1 件であった。臥床患者には毎日背部の部分清拭を行い、病棟オリジナルのスキンテアチェック表を用い PNS ペアでの皮膚観察の強化を図った結果、重症化はなかった。

(3) 針刺しは 2 件あり。安全装置付きの翼状針の採用に伴い、針刺しが 1 件起こったため動画で使用方法の注意点を周知し、その後針刺しはなかった。

4) 専門職としての能力開発に努める

(1) プリセプター会を毎月開催し、新人看護師の情報を共有し支援した結果、離職者は 0 であった。スタッフ全員で教育・育成していく意識を持つことに繋がった。

(2) ナーシングスキルは、病棟で必要な項目を毎月タイムリーに抽出し自己学習に活用した。閲覧回数は延 934 回であった。閲覧回数は前年度よりわずかに減少したが、新人看護師以外も閲覧し共に学習したことで、日々の指導に活用し教育することに繋がった。

5) 看護の先輩として学生指導に携わる

CE と教員間の密な連携により情報共有ができた。また日々の指導を CE で行い、CE 間で情報共有を行うことで統一した指導実施に努めた。

6) 活気ある職場、元気の出る職場づくりを推進する

計画的に年次休暇が取得できるように取り組み、一人平均 12.7 日取得できた(途中、産前・産後休暇、病気

休暇を取得したスタッフを除く38名)。スタッフの希望に沿った休暇の計画が行え、スタッフ個人が充実したプライベートの時間を持つことへ繋がった。

2. 病床運営状況

表1 令和元年度 病床運営状況

収容可能 病床数 (床)	診療科名	月平均		平均 在院患者 数(人)	平均 在院日数 (日)	病床 利用率 (%)	病床 稼働率 (%)
		新入院患 者数(人)	退院患者 数(人)				
49	脳神経外科 脳神経内科	85.6	124.6	40	11.6	81.6	89.9
重症加算病床		有料個室		死亡患者数(人)			
病床数(床)	稼働率(%)	病床数(床)	稼働率(%)				
2	93.6	7	86.7	19			

表2 令和元年度 SCU 病床運営状況とt-PA 治療件数

SCU 入室患者数(人)	233
SCU 平均在室日数(日)	5.6
t-PA 投与総患者数(件)	12

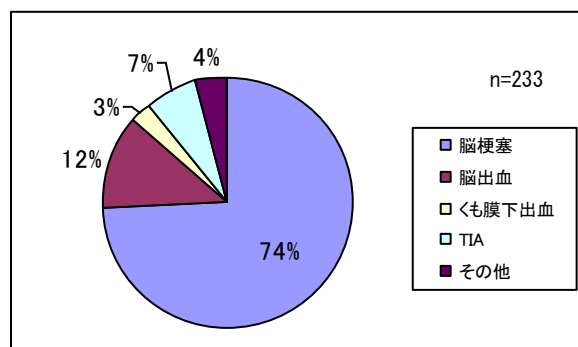


図1 SCU 入室患者疾患別割合

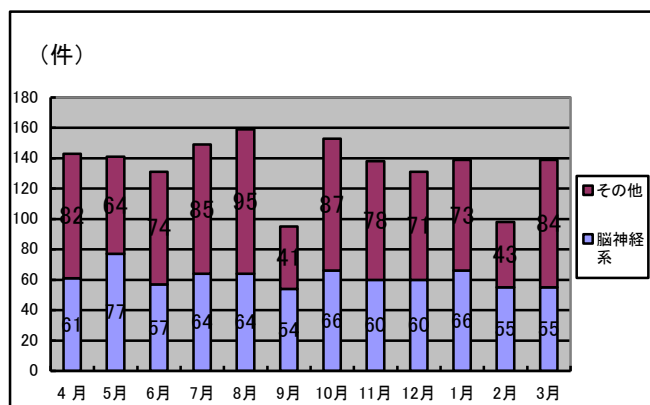


図2 令和元年度診療科別入院取扱件数

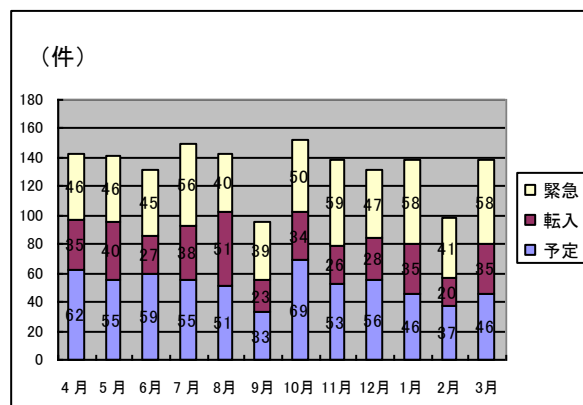


図3 令和元年度入院取扱件数

3. 看護体制

表3 令和元年度 看護体制

配置人数(人)	看護方式	夜勤体制(準:深)
36	PNS [®]	4:3

4. 看護統計

1) 重症度、医療・看護必要度

表4 令和元年度 一般病棟 重症度、医療・看護必要度 I

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
基準を満たす患者の割合 (%)	21.3	23.0	25.1	31.3	26.4	31.2	31.9	23.8	23.1	29.6	25.2	30.2	26.8

5. 看護研究発表・研究会発表

発表演題名	発表者	学会名	開催地	開催日
脳卒中病棟における、せん妄スケール導入による看護師の認識の変化	北村優実	第15回中国四国地区国立病院機構療養所看護研究学会	広島	2019年 9月7日
脳卒中患者のせん妄予防ケアに対して看護師が自信を持ってない要因—インタビューガイドを用いた要因分析—	渡邊真由夏	看護研究発表会	院内	2020年 2月8日